

バンダイナムコグループ、 企業版ふるさと納税を通じて島根県松江市を応援

- B.LEAGUE 所属プロバスケットボールチーム

「島根スサノオマジック」ホームアリーナ（松江市総合体育館）改修に活用 -

バンダイナムコグループは、株式会社バンダイナムコホールディングス、株式会社バンダイナムコエンターテインメント、株式会社バンダイ、株式会社 BANDAI SPIRITS の 4 社にて、企業版ふるさと納税（正式名称：地方創生応援税制）を通じて、島根県松江市に総額 30 億円を寄附したことをお知らせします。

当グループは、IP（キャラクターなどの知的財産）を軸に、玩具ホビー、ゲーム、映像、アミューズメントなどのエンターテインメント分野で多角的に事業を展開しており、各事業が連携することで IP を最大化し、持続的な成長を続けてまいりました。さらに、バンダイナムコグループのパーパス「Fun for All into the Future」に基づき、2025 年 4 月にスタートした 3 カ年の中期計画においては、中長期ビジョン「Connect with Fans」を掲げ、これまで以上に新しい挑戦を積極的に行うことで、世界中の IP ファンやあらゆるパートナー、社会などとのつながりを強化してまいります。

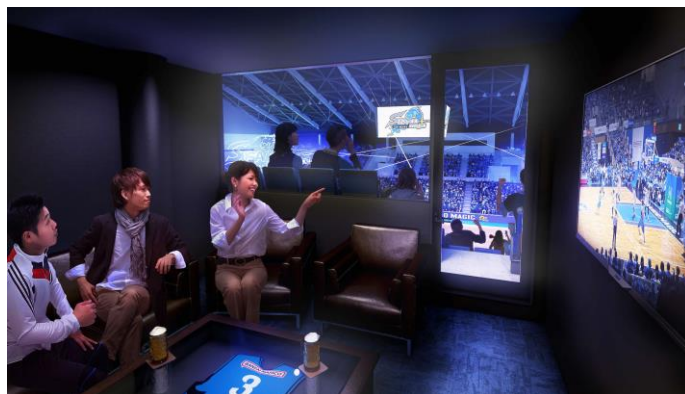
その上で、当グループが運営する B.LEAGUE 所属 プロバスケットボールチーム「島根スサノオマジック」は、松江市が所有する「松江市総合体育館」をホームアリーナとし、松江市を中心とする島根県の皆さま、そして「島根スサノオマジック」のファンの皆さまからの熱いご支援をいただき、2 年ぶりに「B.LEAGUE CHAMPIONSHIP 2024-25」への出場を果たすことができました。

また、松江市は、2030 年の松江のあるべき姿を示した「松江市総合計画（MATSUE DREAMS 2030）」のもと、2030 年には「スポーツが松江の存在感を高めた」と市民が実感できる環境づくりを目指しています。

これらの背景に基づき、松江市のスポーツを活用した環境づくりを支援するため、「島根スサノオマジック」のホームアリーナ（松江市総合体育館）の改修を応援いたします。



▲新たな「松江市総合体育館」の外観 イメージ



▲新たな「松江市総合体育館」のスイート BOX イメージ